



七尾中学校 学校だより
七尾の丘

Seven tails Story 七つの尾の物語を創り上げよう！



マスコット“七王”(ななおう)

第11号

令和7年2月26日

廿日市市平良二丁目2-34

TEL:0829-32-8200

令和6年度学校評価について

令和6年度の学校評価についてお知らせします。「居心地のいい学校」をめざして取り組んでまいりました。授業づくりや集団づくりについては、おおむね目標を達成することができましたが、教職員の業務改善については課題が残りました。評価の内容については学校運営協議会で承認をいただき、来年度の学校経営に生かしていくこととお約束します。

◎ 令和6年度 学校経営目標

中期経営目標 (めざす児童生徒像)	短期経営目標 (めざす児童生徒像)	評価項目・指標	自己評価
グローバル社会に求められる、基礎的な知識・技能の習得と主体的に学び課題を解決する力及び思考力・判断力・表現力を育成する。	◎課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組む生徒を育成する。(市共通項目)	授業で解決しようとする課題について、「なぜだろう」「やってみよう」と思う生徒の割合を35%以上にする。(学校アンケート：よくあてはまる)	達成値：37.1% 達成度：109% 評価：A 「授業が好きだ(よくあてはまる)」という肯定的な割合が37.1%、あてはまるも含めると80.1%にのぼり、意欲的に課題に取り組む姿が見られる。
	○生徒が自分で思考し、判断し、表現できる生徒を育成する。(小中共通)	「理由をつけて考えを説明、表現することができる」と回答した生徒を80%以上にする。(小中共通)	達成値：78.8% 達成度：96% 評価：B 積極的に考えを説明しようとする生徒は減少しているが、ICTの活用力は高くなっている。
お互いに認め合える集団づくりを進め自己有用感を高めることによって、問題行動の未然防止を図るとともに学ぶ意欲を高める。	○生徒の自己有用感が高まり、お互いのよさを認め合うようになる。(市共通項目)	自分のよさは、まわりの人から認められると回答した生徒の割合を70%以上にする。(市共通項目)	達成値：81% 達成度：120% 評価：A 縦割り活動が定着し、それぞれの役割で貢献し、自己有用感が高まる生徒が増えた。
	◎不登校生徒を減少させ、SSR等を含めた居場所づくりを行う。(市共通項目)	不登校生徒の割合を全校生徒8%以下にする。	達成値：7.5% 達成度：109% 評価A SSRの運営や情報共有のシステムは構築できたが、不登校の割合はほぼ横ばいだった。
教職員の子どもと向き合う時間を確保し、教職員が健康でやりがいをもって勤務できる環境をつくる。	◎働き方改革を推進し、長時間勤務を縮減する。(市共通項目)	子どもと向き合う時間が確保されていると感じる教職員の割合を70%以上にする。(市共通項目)	達成値：68.2% 達成度：79% 評価C 校務にゆとりを持たせることができるよう、今後も業務内容を精選する必要がある。
		時間外勤務時間が月平均45時間を超える教職員の割合を50%以下にする(市共通項目)	達成値：40% 達成度：118% 評価A 学校行事がある月に勤務時間が多くなる傾向があり、内容を見直す必要がある。

学校運営協議会で生徒を交えた熟議を行いました

2月13日(木)、学校運営協議会を行いました。学校運営協議会は学校評議員の皆様にご教育活動についての評価をいただくとともに、学校の運営について助言をいただくための会です。会の中で生徒会執行部5名生徒を交え、来年度の教育活動についての熟議を行いました。その中で生徒会執行部から次の2点の提案がありました。



- **小学生や地域の方々が七尾中学校に来校して、中学校での活動をより深く知る活動(例えば、学習発表などをみてもらう)はできないか。そうすることで、小学生は中学校入学の不安が軽減され、地域の方は七尾中をより応援してくれるのではないか。**
- **進路学習会で、生徒が少人数で身近に高校の先生から直接話を聞く会を設けることはできないか。そうすることで、自分の進路をより真剣に考えることができるのではないか。**

上記以外にも生徒から、昨年同様、防災キャンプや大学訪問、フリーユニフォームウィークなどは取り組みを継続してほしいという声がありました。学校運営協議会の皆様からは「執行部の問題意識は十分理解できるので、学校は是非前向きに検討してほしい」という意見をいただきました。この声を受け止め、上記2点について学校経営方針に盛り込み、生徒会執行部とともに実現を模索していきたいと思っております。生徒の声を生かしながら「居心地のいい学校」をめざします。

トピックス



2月4日(火)廿日市警察署の署員さんを招き、不審者対応防犯訓練を実施しました。教職員が不審者に対応するとともに、生徒は教室内でバリケードをつくり不審者の侵入に備えました。今後も真剣に避難訓練等を行い、学校全体の危機管理意識を高めます。



2月12日(水)～20日(木)まで、美術ギャラリーで合同美術展が開催され、本校生徒の作品が展示されました。どの作品も生徒の個性があふれ見ごたえがありました。ご来場ありがとうございました。

他人事ではない



先日、ミャンマーとタイの国境付近にある、中国人マフィアの特殊詐欺拠点から2000人もの方が解放され、その中に2名の日本人高校生が含まれていたというニュースがありました。特殊詐欺に従事させられていた高校生はゲームアプリで犯罪組織の人間と知り合い、だまされてミャンマーまで連れていかれたとのこと。自分たちが何気なく使っているスマホが犯罪組織と直結していることを端的に示した事件で、決して他人事ではありません。自分は大丈夫と思わず、スマホの使い方について真剣に考える材料としてください。